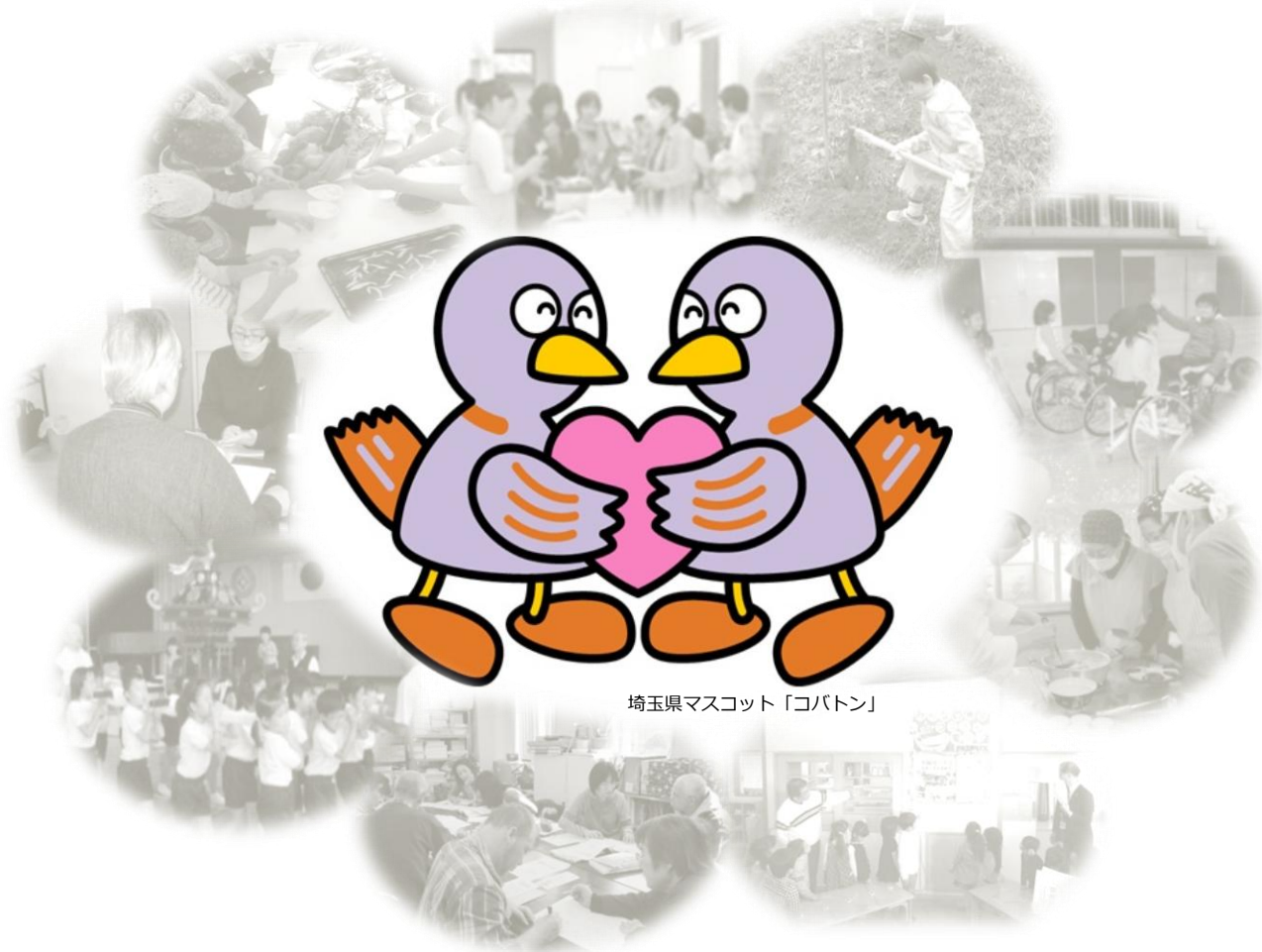




埼玉県NPO基金 ニュース



埼玉県マスコット「コバトン」

Contents

● 寄附者の御紹介／ごあいさつ……………P2	◎ 地域課題解決型協働事業……………P12～P13
● NPO基金を活用した助成事業の紹介 ……P3	◎ NPO元気なまちづくり助成事業……………P13
● H23年度NPO基金を活用した事業 ～活動報告 ……………P4～P13	◎ NPO運営力強化・育成支援事業……………P13
◎ NPO活動促進助成事業……………P4～P11	● H24年度実施予定のNPO基金事業……………P14
・NPO活動サポート事業……………(P4～7)	● NPO基金を支える3つの寄附方法……………P15
・みんなでサポート事業……………(P8～11)	● 「埼玉県NPO情報ステーション」のご案内 寄附のお願い/お問合せ先……………P16

平成23年度にご寄附いただいた皆様

御支援をいただきありがとうございます。

平成23年度の寄附合計額: 29,666,500円



- | | | |
|------------------|---------------|---------|
| (株)オールアシスト 様 | キンピール(株) | 江利川 毅 様 |
| (株)ウィズコーポレーション 様 | 埼玉支社 様 | 川崎 環樹 様 |
| 天徳寺 様 | 浦和北ロータリークラブ 様 | 大徳 宏教 様 |
| 守屋八潮建設(株) 様 | (株)小山本家酒造 様 | 石井 清江 様 |
| (医)鴻生会小室クリニック 様 | 国際ロータリー | 相良 節子 様 |
| (株)武蔵野銀行 様 | 第2570地区 様 | 黒澤 昭夫 様 |
| (株)市之瀬電設 様 | アサビール(株) | 須田 沃 様 |
| 協和化工(株)埼玉工場 様 | 埼玉統括支社 様 | 菅山 修二 様 |
| (株)丸喜 様 | (財)さいたま住宅 | 田島 和雄 様 |
| (有)さいたま典礼 様 | 検査センター 様 | 木村 勝昭 様 |
| トキタ種苗(株) 様 | (社)埼玉県環境検査 | 細木 邦子 様 |
| 入間ガス(株) 様 | 研究協会 様 | 立麻 典子 様 |
| (株)ユーディーケーサービス 様 | (社)全日本不動産協会 | 山村 昭康 様 |
| ジーエー・システム(株) 様 | 埼玉県本部 様 | 大前 明 様 |
| ちちぶ動物病院 様 | (医)群羊会 様 | 河登 一郎 様 |
| (株)エアコンセンター 様 | 東京ガス(株) | 安部 実 様 |
| 共和電機(株) 様 | 埼玉支店 様 | 福田 望 様 |
| (有)リス 様 | | 斉藤 勉 様 |
| (株)青木電設 様 | 匿名希望 | 青木 利人 様 |
| 国際ロータリー第2770地区 様 | 6団体 様 | 工藤 正夫 様 |
| (株)富士薬品 様 | | |

匿名希望
11名様

寄附申込日順に御紹介しています

ごあいさつ

平成16年度に設置した「埼玉県NPO基金」は、県内外の様々な分野で課題解決に取り組むNPOの活動の支援に活用させていただいております。この「埼玉県NPO基金」は、平成23年度の事業の成果をまとめたものです。地域で活躍しているNPOの姿を御理解いただければ幸いです。また、埼玉県では平成24年度から新たに「共助社会づくり課」を設けました。地域でお互いに支え合う社会づくりの担い手であるNPOの活動支援を通じ、「日本一の共助県」を目指してまいります。皆様の一層の御支援、御協力をお願いいたします。



埼玉県知事 上田 清司

感謝状贈呈式を行いました



株式会社武蔵野銀行 様



トキタ種苗株式会社 様



菅山 修二 様



キンピール株式会社
埼玉支社 様



株式会社小山本家酒造 様



アサビール株式会社
埼玉統括支社 様



安部 実 様



社団法人全日本不動産協会
埼玉県本部 様



NPO基金を活用した助成事業の紹介



NPO活動促進助成事業

NPO活動サポート事業

NPOの特性を生かしたアイデア・視点で実施する独自性・先進性のある事業に対して助成する制度です。
分野希望寄附によりH23年度は以下の9分野でNPOの活動支援を行いました。

【分野指定枠】

「保健・医療・福祉」「地域安全活動」「国際協力」
「子どもの健全育成」「スポーツ振興」「環境保全」

【ネーミング事業】

「まちづくり」「地産地消・食育」
「災害救援・避難者支援」

H23年度実績

助成件数	9件
助成金額合計	4,221千円

みんなでサポート事業

県民や企業の皆様などから寄せられた「団体希望寄附」を原資として、基金登録団体の活動を財政面で支援する制度です。

H23年度実績

助成件数	21件(17団体)
助成金額合計	6,542千円



地域課題解決型協働事業

NPOと行政や企業、大学、地域団体等の多様な主体が協働し、福祉や環境、子育てなど地域社会が抱える課題の解決に取り組む事業に対して助成する制度です。
(平成24年度以降は継続分のみ対象としています)

H23年度実績

助成件数	4件
助成金額合計	1,200千円



NPO元気なまちづくり助成事業

NPOが主体となって取組む施設整備に対して助成する制度です。NPOが活動する地域の拠点を増やすとともに、住民交流の機会を創出し、地域で支え合うという共助意識を高め、地域をより良くする「住民交流を目的としたまちづくり」を目指します。

H23年度実績

助成件数	1件
助成金額合計	2,000千円



NPO運営力強化・育成支援事業

NPOが継続的、安定的に組織を運営していくために必要なマネジメント力や広報力など、組織運営能力を強化する講座等を行いNPOを支援します。

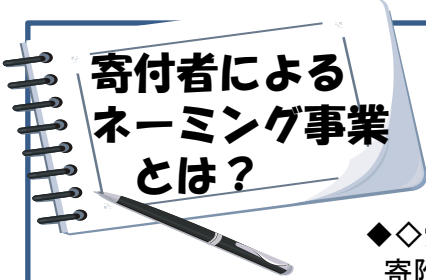
H23年度実績

地域講座	7回
参加者延べ	309人



NPO活動促進助成事業

NPO活動サポート事業（ネーミング）



寄付者による ネーミング事業 とは？

埼玉県NPO基金に50万円以上の「分野希望寄附金」をいただいた場合に、寄附者の方に県が実施する助成事業の「愛称（ネーミング）」を付けていただく制度です。

◆◇愛称の付け方◆◇

寄附者の方が付ける愛称の基本構成は、原則として企業名や商品名等と、希望分野を組み合わせたものとなります。

ネーミングのイメージ



◇◆NPOへの助成◇◆

毎年12月までの寄附を取りまとめ、翌年の4月から愛称を付けた名称でNPOからの募集を開始します。県が設置した審査委員会で審査を行い、採択した事業に県から助成金を交付します。助成を受けたNPOは事業報告会（公開）で成果等を発表します。

地産地消 ・ 食育

キンビール(株)埼玉支社 地産地消・食育応援事業

～果実のジャム化技術習得と障害者の就労支援活動～

（特）さいたま自立就労支援センター（さいたま市）

9年前から、就労が困難な状況下において仕事を求めている方々の就労機会の創造を目指し、休耕地の開墾や遊休農地の活用をして農作物づくりを実施しています。恒久的な生存をかけた自給自足の道を開き、明日への確かな希望を紡ぎ出す活動をしています。同時に、社会的な役割を担う面から社会的弱者等への就労機会づくりに向けた支援活動をしています。



私達の社会的役割を担う事業として栽培中のイチジクのジャム作りと、停滞が続く県内のブルーベリー畑の再活用を目的としたブルーベリーのジャム作りを実施し、障害者等の就労機会の創造にも繋げていくことが、今回の助成金を受けて実施した事業の目的です。その手始めにジャム作りの講習会を開催しその技能を習得して貰うこと、同時にイチジクやブルーベリーの栽培現場を見て、触って、食べて楽しんでもらうことも重要な要素であると考え、それぞれの摘み取り行事も実施しました。

①ブルーベリー狩りは5障害者団体90名、イチジク狩りは5団体60名の参加を得られました。②県内5か所で5回のジャム作り講習会を開催し、延べ22団体86名の参加者を得ました。③障害者団体213団体にアンケート調査を実施し、25団体の参加意思を確認できました。

助成事業を実施しこの事業のニーズの確かさを実感できました。今後は自前のイチジクやブルーベリーの生産に全力を挙げ、安心で安全な素材作りに進進すると同時に、ジャム生産に向け合理化策や商品開発を参加希望団体と協議し、障害者等の就労機会の実現に向けた活動を展開してまいります。



(財)さいたま住宅検査センターまちづくり振興事業

～「伝統文化こどもみこし教室」実施とその活動強化事業～

(特) 西興連 (川口市)

わたしたちは、日本の伝統文化として「みこし」を維持・普及させ、地域行事である「祭り」を通して世代をこえた交流を実現し、子どもたちの郷土愛を育み、地域の連帯意識を高めることを目的とした、「お祭り子どもが大好き人間」のグループです。

この事業では、毎年実施している、地域とPTA・学校などとの協働事業「伝統文化こどもみこし教室」を広くご理解いただくために、指導内容のわかるビデオを作りました。これは指導者の育成や指導技術の研究のためにも使われます。また本年より子どもたちは全員が「祭り足袋」をはいてみこしを学習できるようになり、貴重な文化体験ができるようになりました。



本年は約300名の小中学生がみこしについて学び、地域の祭りに参加するきっかけをつかみました。そろいの白い祭り足袋でみこしを練習する子どもたちの姿に、見学していたおとなたちの間からは「なんてきれいなんだ」という声上がり、子供会や町会が子どもみこしについての認識を改める効果もありました。今後も「みこしは心をひとつにするためのもの」というご理解を得ながら、ますます「みこしの文化」のために努力したいと思います。

埼玉県電気工事工業組合 災害救援支援事業

～乗り越えよう3・11 笑顔！宅配便～

(特) 文化遺産保存のための映像記録協会 (さいたま市)

わたしたちは文化遺産を映像保存する活動をしています。文化遺産に関心を持つことで、日本をもっと良く知ろう、という啓発活動です。

このたび補助をいただいた「笑顔！宅配便」は、東日本大震災で加須市の旧騎西高校に避難の皆さんへ、落語家さんをデリバリーする事業でした。人間は笑うと、笑うこと以外の我を一瞬忘れ、そこから活力を生み出していく、素晴らしい生き物です。それが日本独自の無形文化遺産、落語なんですね！桂幸丸さん、春風亭柳橋さん、ミュージカル落語の三遊亭亜郎さんなどが、腹のよじれる笑いと活力を提供しました。

3回の高座を設け、全住民500名の内、延200人ほどの方が参加されました。費用対効果は、出演メンバーの笑いの質から鑑みて、極端に高いと言って良いでしょう。それでも費用は掛かりますので、その捻出が何よりも課題です。

今後は、文化遺産に関心をお持ちのNPOとの連携を考えています。



NPO活動促進助成事業

NPO活動サポート事業

保健・医療・福祉

障害者福祉施設・糸ぐるま『地域交流誌』刊行プロジェクト

誤解と偏見を超えて一地域の人たちとの共生を目指して (特) 地域活動支援センター糸ぐるま(蕨市)

蕨市で初めての「精神障害者のための地域生活支援センター」として活動をはじめ、7年目に入ります。地域で安心して通所できる「日中の居場所」を提供するとともに、就労準備支援も行っております。現在は通算登録者数も90名を越えました。明るく・楽しく・仲良くをモットーに、利用者の社会復帰・社会参加を無理なく「その人のペース」にあわせて支援させていただく施設です。



精神障害者に対する偏見・誤解を払拭するための「地域交流誌」の制作・配布を通して、地域の方々と協力しながら「障害者」も共に暮らしていける地域社会に貢献したいと考え、地域の方々に編集協力・寄稿等をお願いし、第1号が完成しました(A5判・160ページ)。月に一回程度で全5回開催した「地域交流会」には延べ60名の近隣住民の参加がありました。また精神疾患についての勉強会、歓談、情報交換も行いました。

今回の事業で「地域交流誌」第1号を無事発行することができました。この事業のおかげで、近隣住民との良好な関係づくりの基礎ができ、精神障害者に対する正しい理解の促進、当施設のPR・広報活動にも大きく役立てることができました。今後は、地域交流誌第2号に向け、さらに多くの方々と交流を深め、市民・地域の方々との「絆」をさらに強くしていきたいと願っています。ありがとうございました。

地域安全活動

みぬまハウス・生活支援事業

(特) みぬまで暮らす会(さいたま市)

誰もが最後まで自分の家で自分らしく生きることができるよう、「共助の仕組みづくり」を目指して2008年から活動してきました。ボランティアの皆さんや商店街の方々、地元の農家や販売品を提供してくださる方の協力に支えられて来店者が増えています。コミュニティカフェとワンコインランチを提供して、誰でも、いつでも自由に来て話していくことができ、ひきこもりがちな高齢者や障がい者の話し相手や日常生活の支援を行っています。

今回の事業では、地域の安心・安全を見守る必要性から、「共助」の支え合いの力を復活させたいと思い、安心して暮らせるまちづくりをサポートする人の育成「暮らしの安心・安全講座」を開講しました。さいたま市が目指す安心なまちづくりの視点で、見沼区役所の担当者の講義から、介護保険やオレオレ詐欺への対処法を学んだり、「緊急対応ノート」の作成要領や介護保険外の生活支援について学習し、支援の必要性を参加者と運営スタッフが共有できました。



講座の参加者は、特定の講座だけ聞きたいという方を含めて34名に達し、修了基準に達した20名に終了証をお渡しして、日常生活の支援サポーターへのスタートをしました。元気な高齢者がサポーターとして支援活動をしていくことは、自分らしい存在感を感じ取っていく大事な行動です。その意識を持って、今後は関係する団体・企業・行政機関と協働した活動を行い、介護予防の活動や認知症を改善する「学習療法」にも取り組む予定です。

国際協力

多文化体験 高校生マレーシア訪問

(特) メイあさかセンター(朝霞市)

子どもから高齢者まで、みんなが仲間で、年齢や立場を超えて提携して『朝霞から世界へ 世界から朝霞へ 生涯学習でいきいきと』をモットーに活動しています。学校教育と連携して、子どもの絵でマレーシアと教育支援の国際協力をし、高齢者ミニデイサービスや音楽療法で知的障害がい児・者ともリフレッシュや仲間作りをして、介護予防に取り組んでいます。

このたびは「多文化体験 高校生マレーシア訪問」事業に助成を受けました。「絵を通じての友好」：マレーシア各地で学校や州立図書館などと連携した“子どもの絵画作品の交換交流”は20数年になります。その間に築いた信頼関係があり、日本の高校生が世界へ目を向けるチャンスにと「高校生の交流」を行う事業を実施しました。



募集には当初の予想以上の反響があり、参加者を増やして6校の高校生11名を引率しました。事前準備段階から旅をしながら集団に仕上げて、1月2日～9日という短期ながら大変良いチームとなりました。自覚を持ち交流できるようになりました。埼玉県が謳っている「はばたけ高校生・グローバル人材育成」へと結ぶ動機づけのスタディツアーでしたが、十分学生たちは世界を見据えた気持ちで帰国の途に就きました。



子どもの健全育成

料理人と出向く食育「誇ろうさいたま！がんばろう日本！」

(特)食育研究会MoguMogu (さいたま市)

「食育は楽しく体験型で」をモットーに、親子料理教室、大人の食育セミナー、野外体験、バスツアーなど年間約20～30のイベントを開催して、8年になります。



活動を続けてきた中で、会に足を運んでくる人々だけでなく、食育が十分届いていない人々のところにも、出向いていく必要性を感じました。そこで、学校をはじめ、幼稚園、保育園、児童館、小規模グループ、大人グループなど対象に、「埼玉の料理人とMoguMoguスタッフが出向く食育」を、助成を受けてスタートしました。

①小学校3回連続コースを1校開催、参加者54名。②単発講座6回開催、参加者計189名。①では五感を使い五味を体験。調理法5法も学び、素材を生かした味を体感することで、好き嫌いに対する考え方が前向きになった児童が増えたことがアンケートからもわかりました。②の「お説教ではない食育講演+αおいしい体験」では、シェフに素材を生かしたおいしい料理を教わりながら、食育で一番大切なのは、楽しく会話をしながらそろって食事をいただくこと…という言葉に、子育て中の大人が安心して食育に取り組める気持ちを持っていただけたことが、アンケートよりわかりました。

スポーツ

スポーツ・レクリエーションから生まれる人のつながりが育む「子ども力(ちから)」

(特)志木総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ (志木市)

地域の人たち自らが、スポーツ・レクリエーション・健康づくりを通じて、自分の地域の課題を解決していくことを目的とする総合型地域スポーツクラブです。子どもから高齢者まで、多様なプログラムを楽しみ、認証後10年を迎えます。

少子化、核家族化を背景に、子どもの育つ環境がタテ(親子)とヨコ(同年齢)だけの人間関係に偏りがちです。多種目、多世代が特徴の当クラブが、アフタヌーン・マンデーナイト・ふれあい110番ウォークの3つのプログラムを実施し、ナナメ(ご近所や異年齢)の関係を築くことで、子どもが本来持っている元気の素『子ども力』を引き出すとともに、高齢化した志木のまちを元気にすることも目指しました。

20種を超えるレク・スポを楽しむアフタヌーン24回、マンデーナイト22回、そしてふれあい110番ウォーク16回を開催しました。参加総数は、1,293名にものびります。助成事業を実施し、今までよりも一層多様なまちの人どうしのつながりが生まれ、保護者や高齢者の方から「安心」の声が聞かれます。今後も3プログラムを確実に継続させ、参加者増と、世代間交流の拡大をはかります。



環境保全

すぎんこプロジェクト

(特)木の家だいすきの会 (所沢市)

「森に緑を、住まいに木を」を理念として、日本の木を使った家づくりを推進することで、日本の森の保全を図るとともに、市民を対象に「森と都市の交流」をテーマとした活動を行っています。

すぎんこプロジェクトは、次代を担う子ども達が、本物の生きた自然素材に触れることで、木の良さを知る機会とするとともに、木を大事に使うことの大切さを学ぶ機会としたいと考え、森林保全活動とその森の木を使った児童クラブの床張ワークショップを実施しています。



平成20年度にスタートし今年度で4年になり、その間、5つの児童クラブの親子を対象に実施しました。今年度はNPO基金の助成を受け、埼玉県ときがわ町内の森林での植林と間伐材を使用したマイはしづくりと、ときがわ町内の森の木で製材した杉厚板を使用しての、子供たちの手による床張ワークショップを実施し、特に、浅田茂裕埼玉大学教育学部教授のご指導により木育の観点からプログラムの拡充を行いました。

今後とも、1年に1ヶ所づつ着実に実施するとともに、今年度始めた木育活動を埼玉大学のご協力を受けながら、森づくりと連携した教育プログラムとして充実できればと考えております。



NPO活動促進助成事業

みんなでサポート事業

社会教育

(特) 子ども大学かわごえ (川越市)

子ども大学かわごえ(CUK)は、東洋大学、東京国際大学、尚美学園大学の教員や実務専門家の協力を得て今世紀の中ごろ第一線で活躍する子どもたちに思考を中心とする未来志向型の教育を行っています。活動4年目の現在、川越市や鶴ヶ島市を中心とする183名の小学生(4～6年生)が在籍して、積極的に大学レベルの学習に取り組んでいます。CUKの学習の結果、子どもたちの知識の幅が広がり、自分で学習する癖が出てきたと保護者から報告を受けています。



まちづくり

(特) NPO菜の花エコプロジェクト埼玉 (坂戸市)

私たちが菜の花を栽培している地域では近年、農地の宅地化が加速しています。さらに、「うちの畑を使ってほしい」という声も目立ち耕作放棄地の広がりには止めようもありません。資源循環型のまちづくりを目指して活動している立場からは非常に残念な状況で、「これは地域の課題だ」と無視できません。環境保全の運動体(だから非営利で良い)からの脱却が、地域に必要なNPOへとステップアップできるカギかもしれません。



(特) ぎょうだ足袋蔵ネットワーク (行田市)

当NPO法人では、NPOが運営している藍染体験工房「牧禎舎」を芸術家が集い市民と交流するまちの文化の発信拠点へと発展させて、歴史・文化を活かしたまちづくりを進めていきたいと考えている。そこで、藍染体験工房「牧禎舎」で芸術家の発表会と作品の展示・販売を一体となつて行う「アーツ&クラフツ in ぎょうだ」を開催して、拠点構築の足がかりを作る。



学術・文化・芸術・スポーツ

(特) 埼玉県愛瓢会 (所沢市)

(瓢箪づくり講習会)

所沢市の老人福祉センター「緑寿荘」を会場に定期的に高齢者を対象に、「ひょうたん作品作り講習会」を実施。活動が大きな「輪」と「和」を生み、仲間友達の増加にもつながり高齢者のコミュニケーションの向上にも寄与、事業の成果を実感、やりがいもあり今後の更なる運営工夫をはかり発展を期したい。

(埼玉県ひょうたん展示会)

当会はNPO法人全日本愛瓢会埼玉県支部としても広く活動。ひょうたん栽培・加工技術の向上や各展示会の開催、一般市民への瓢箪作品作り講習会等の活動の中でも「埼玉県作品展示会」は毎年大きなイベントの一つです。23年11月は所沢市民ギャラリーで開催、第5回目で3日間の開催でしたが約2千名の来場者で連日大盛況のうちに無事終了致しました。

誰にも笑顔を誘い癒しと安らぎをもたらすひょうたん・・・、県民の充実した文化活動・余暇活動に更に邁進したいと思います。



(特) 市民シアター・エフ (深谷市)

① 中学校での「映画鑑賞会」

深谷市内の中学校3校(花園中・岡部中・川本中)でアニメ映画「セロ弾きのゴーシュ」(高畑勲監督・60分)の映画観賞会を開催。
～宮沢賢治の世界とゴーシュ青年の成長を、映画をとおして体感～

② 「深谷シネマ」上映ポスターの制作

「深谷シネマ」上映案内のカラーポスターを自前でデザイン制作し、カラー印刷で委託しました。(毎月200枚×6ヶ月)
～公共施設や商店街に張り出したことで、人目につき集客増になった～



環境保全

(特) エコシティ志木 (志木市)

志木市内の河川敷には多くの外来植物が繁茂し、在来植物の生育環境が脅かされています。特に繁殖力が強く、外来生物法対象であるアレチウリ(特定外来生物)やオオブタクサ(要注意外来生物)の駆除作業を通じ、本来の生態系回復と一般市民への啓発を深めることを目的とした事業です。市民に広く参加を呼び掛けて駆除作戦を2回実施し、また、河川敷の外来植物について解説したパンフレット『新河岸川と柳瀬川にはびこる外来植物』を作成し、参加者等に配布しました。



(特) 秩父農工森づくりの会 (皆野町)

3年目区域の植樹を行い、メープルの森第1期植樹面積の3.6haがカエデの森として完成しました。また、鹿害を防ぐ対策として、鹿食害防止ネット「くわんたい」を設置し自然林の保護と樹木の育成に努めます。これからも、地域の皆様の協力を得ながら、会員一同力を合わせて埼玉県民に愛される森づくりを進めていきます。



(特) 埼玉エコ・リサイクル連絡会 (さいたま市)

(エコ・リサイクル研修見学会)

8月に行った研修見学会は、吉岡自然エネルギーパーク・吾妻溪谷(ハツ場ダム建設予定地)に行きました。風力発電の羽は、「上州の空っ風」がなく微動だにしていなかったのはご愛嬌でしたが、農業用水を利用した最大出力540Kwのミニ発電所はとても参考になりました。

環境学習会は「くらしの中の化学物質を考える」をテーマに私たちの身体に様々な影響を与えている環境汚染や化学物質過敏症などについて、県・市民団体の取組みを企画しました。学習や見学などで学んだものを、各地域へ持ち帰りごみ削減に役立てます。



(交流集会2012)

「エコ・リサイクル連絡会交流集会2012」では『彩の国から再生可能なエネルギーを!』～地産地消を増やし、持続可能な社会をめざす～をテーマに「環境にやさしい小水力発電設備の導入」や田中優氏を迎え「地域でエネルギーを自給する」をテーマに講演しました。



NPO活動促進助成事業

みんなでサポート事業

環境保全

(特) 熊高森づくりの会 (熊谷市)

熊高森づくりの会は平成20年7月5日に設立されました。当会では、埼玉県立熊谷高等学校(以下「熊高」という。)の校歌にうたわれた荒川水源地の一つである長瀬町宝登山に悠久の森づくりを行っています。この活動により、熊高に学んだ卒業生、在校生の他、地域住民など多くの人たちが集い、交流を図るとともに、地球環境の保全や水源涵養等に寄与したいと考えています。会員数は約800人。事務局は熊高同窓会館「くぬぎ会館」内。



(特) 環境ネットワーク埼玉 (さいたま市)

当団体「埼玉お日さまクラブ」では、特に太陽の光エネルギーを推進するために「太陽光市民共同発電所」の設置活動を行っています。多くの人々が共同で市民参加型の太陽光発電所を設置することにより、自然エネルギー導入への普及啓発を行うことを目的としています。今年度は市民共同発電所3号機の設置を目指し、主にちらしやホームページを通して情報発信を行いました。またネットワークを拡大し地域で展開できるよう、フォーラムを開催しました。



人権・平和

(特) 高齢者・障害者サポートクラブ (毛呂山町)

本法人は、関東平野の裾野に位置し、西に山々が連なり、四季を感じるのどかな地域で活動しています。この度NPO基金の助成を受け、軽自動車をリースし、訪問活動がスムーズに行える環境になりました。軽自動車をリース前は、個人所有の自動車を利用して活動をしておりましたが、軽自動車をリースしたことにより、以前にも増して士気が高まりました。これからも更なる障害者等の福祉充実に向け、努力してまいります。



国際協力

(特) ふじみの国際交流センター (ふじみ野市)

昨年度作成した「7カ国語による快適生活情報クリップ」のシリーズ第1弾となるものです。テーマは毎年700件を超える相談内容の中から多い順に「家族編」「教育編」の2種類を編集いたしました。

将来、全20巻を完成予定していますが、本誌を読んでいただく外国籍市民が、悩みを減少させ、あるいはこうした相談を当「ふじみの国際交流センター」が行っているということを知ること、大事に至る前に問題を解決できるということを成果として期待しています。



国際協力

(特) 燈台 (北本市)

1987年4月パキスタン国クエッタに小児診療所「ヌール・クリニック」を開設した時から燈台の活動が開始された。1年後アフガン難民の小中学生のために「ヌール難民学校」を開校した。医療と教育面の支援を続け、2つの事業と緊急支援などを行ってきた。現在はアフガニスタン国内に活動拠点を移し、人々の自立の一助として支援継続を行っている。



(特) ivory space (さいたま市)

当団体では、多文化共生の視点に立って、東南アジア地域を中心に草の根レベルでの教育協力や相互交流などを行うと同時に、交流を通じて地域社会を考えるキッカケとなることを志向しています。



昨年度は、国際理解・多文化理解の一環として、小学校や高校、大学、地域での講演活動や、伝統文化推進、タイ北部山地民への教育協力等を行いました。今年は、文化推進活動に力を入れた講演会やアジア映画上映会などを企画しています。ちょっとした関心から世界が広がる草の根活動をモットーとしています！



子どもの健全育成

(特) けやの森自然塾 (狭山市)

けやの森自然塾では、子どもたちが協力・工夫して生活できるよう環境を整え、子どもたちが「自分たちでやった！」と充足感を味わえるような活動援助しています。15年前に行った入間川の源流から東京湾までの川下りで得た経験をもとに「川の危険を知って安全に遊ぶ」ことで身近な入間川を通して、環境についての気づきを促すような取組を行っています。

また、毎年行っている富士山登山・スノーキャンプなどの冒険活動、それらの体験から学習へつなげる「なんでも会議」を実施しています。



(特) ふるさと創生クラブ(行田市)

地域の安全のため、青色パトロールや小学1年生の下校時、各児童宅まで付添いパトロールを実施しております。夏休み・冬休みの期間、小学生を対象に「ふるさと子供教室」を外部講師や会員によって開催しております。当クラブ管理のヴィオトープでは、低学年児童の自然観察会や夏休も「親子魚釣り会」・「魚掴み取り会」など

自然に馴染む機会を作っております。助成金は子供教室の講師料やヴィオトープの環境改善に活用しました。



消費者保護

(特) 国民生活向上委員会 (狭山市)

震災の影響による解雇や経営不振を原因とする相談者が増えるなか、借金問題について個別の相談窓口を設け、その対処法や法的なアドバイスやカウンセリングを通じて最善の方法を模索し、解決できるよう取組むことができました。また、震災の直接的な被害を受けた地域においては、ただ単に消費生活相談受付をするだけではなく、余興としてのマグロ解体ショーなども催すことで、何気ない会話の中から内在していた問題を引き出して解決に導くこともできました。



地域課題解決型協働事業

発見!秩父地方の養蚕業と歴史的建造物群

(解説と映像による、子供達を中心とした、郷土愛の育成と文化財保護意識の啓発)

(特)文化遺産保存のための映像記録協会

(さいたま市)

後継者問題で継承が難しい無形文化財や保存・維持することが困難な有形文化財の映像制作を通して記録・保存し、更に制作した映像を活用することにより、文化遺産保存の必要性を喚起・啓発する活動をしています。



第二次世界大戦まで、絹は日本経済を支える重要な輸出品であり、秩父地方は、良質な繭を産出する日本を代表する地域として知られていました。秩父地方には、この証としての有形・無形文化財が数多く残されているにも拘らず、十分に認識されているとは言えず、また、数は激減したが脈々と続けられている養蚕業の実態もほとんど知られていません。そこで、私達は、養蚕業、織物業に関連する有形・無形文化財に関する実態調査及び取材を行い、制作した映像を秩父地方及び埼玉県内各地の学校等へ提供したり、上映会や郷土史家などの専門家による解説を実施し、将来を担う子供達を中心に「郷土愛」や「郷土への誇り」の育成と文化財保護の重要性を啓発する活動を行っています。

子育て仲間で支え合い保育事業

(特)新座子育てネットワーク

(新座市)

1999年の発足以来、子育て中の母親が活動の中核となり、行政と連携して地域子育て支援や家庭教育支援、子育て情報の提供などに取り組み、2003年の法人化後は子育て支援センター・つどいの広場・児童センターの受託運営も行っています。全国の子育て支援を牽引する団体として、政府・自治体・企業との連携事業も多く、北海道から沖縄まで各地に提供する父親支援事業や国際NGOや大学と協働している東日本大震災被災地支援など、子育てNPOとして埼玉県を超えて活躍しています。



不況や生活スタイルの変化から就労する母親は増加傾向にあり、保育需要は高まるばかり。県南西部では、待機児問題は一向に解消されず、少子化の大きな要因となっています。子育てを支え合う隣人を失った地域コミュニティの現状に、ただ手をこまねているのではなく、親同士が子どもを預け合う仕組みを創出できないか。そんな思いから始まったのが、子育て仲間で支え合い保育事業「なかま保育にーにょ」(「にーにょ」とはスペイン語で子どものこと)です。共生社会に相応しい支え合いによる保育環境を親たちが主体となり地域に醸成し、ちょっと預けたい保育ニーズの受け皿を編み出し、待機児リストに載らない地域の子育て力の回復を目指しています。

◆事業サイトhttp://ccn.niiza-ksdt.com/setsumeij_nino01_hug%20.pdf

素敵に加齢する団地をめざす

(特)グリーンオフィスさやま

「新生ハイツ35年プラン」の策定と事業の推進

(狭山市)

「安心して楽しく住み続けられる街の実現」を目的に、環境保全活動支援(緑地の管理運営、わくわく自然園の管理運営、生ごみリサイクルなど)、地域活性化支援(楽農クラブの運営、各種工作物の製作、遊びの出前など)、情報化支援(印刷物の企画・編集・印刷、パソコン教室の開催、催しのビデオ収録・編集など)、福祉活動支援(有償生活支援サービスなど)、住宅管理支援(管理組合活動やコミュニティづくり)に取り組んでいます。



高齢世代はもとより若い世代にとっても安心かつ楽しく住み続けられるコミュニティの維持・発展という地域課題を解決するため、「素敵に加齢する団地をめざす～新狭山ハイツ35年プランの策定と事業の推進」に取り組みました。本法人のもと、地域団体、NPO、大学、民間企業が協働し、地域課題を掘り起し、課題解決の方策を模索。その結果をふまえ、本年度は、空き店舗を活用したコミュニティ・カフェ開設を視野に既存のまた小屋を活用したコミュニティ・カフェの試行(月2回)、管理事務所の一部改修による対面型キッチンを備えた新たな集いの場の創出、コミュニティや活動団体に対する住民意識や意向を把握するアンケートの実施、身近に防災について考える防災講座の開催、集合住宅における共同性について考える講演会の開催などを実現しました。



効果的・効率的・魅力的な学習による 市民の救急医療リテラシー向上事業

(特)救急医療の質向上協議会
(越谷市)

「救急医療の質向上協議会」は2005年3月に設立されたNPO法人です。通称「CATS(キャッツ)」は、Caregiver Associates for Total Satisfaction in Acute Medicineを略したものです。Caregiver(ケアギバー)とは、病院、介護施設、在宅ケア、屋内外を問わず、「医療・介護・応急手当を提供する人」を意味しています。救急現場では、「もっと早く正しい対処をしていれば最悪の事態にはならなかった」ということを数多く経験しています。そこで私たちはこのような事態を撲滅するために、医療関係者はもとより一般の方へも傷病に迅速かつ適切に対応するためのトレーニングを提供しています。

今回の事業では、市民の医療リテラシー(*)向上を目指すため、熱中症やケガなどの応急処置、急な心停止をきたす代表的な疾患や脳卒中の早期発見も含め、市民が遭遇する様々な症例に対応できるようなオリジナル市民向け教材・講習会を企画しました。

サイエンスを基礎とした教材作成と学習システムの開発により、訓練された市民が地域社会の中で市民の医療学習を支援できるような「市民インストラクター」を育成し市民のみで講習会を開催できるシステムの構築を図りました。



* (医療リテラシーとは、急な傷病の知識、発症パターン、気づき方、気づいた時にとるべき行動についての知識、実際に行動するスキル)

NPO元気なまちづくり助成事業

福祉ショップカフェ「くるみの木」川越店開設事業

(特)くるみの木(川越市)

NPO元気なまちづくり助成事業により、H23年10月1日、川越の商店街に、障がい者のアンテナショップ・市民ギャラリーくるみの木をオープンすることができました。

1階では、地域の授産所の品物販売や喫茶店を行い、障がいを持った人も一緒に働いています。2階の市民ギャラリーも多くの方々にご利用頂き、多目的室で開催されている手織教室も好評です。授産品の売り上げは予想以上で、多くの方々から「こんな場所があってよかった。」という声を寄せて頂いています。障がい者の自立を支援する場として、また地域の市民交流の場として、今後一層工夫をして、事業を展開していきたいと思えます。



NPO運営力強化・育成支援事業

地域振興センターが企画し、NPOの運営力強化のための講座を開催。参加者延べ309人。

地域振興センター	テーマ・講師	開催日・場所
南部地域振興センター	「NPOパワーアップ講座及び交流促進事業」 (特)シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 プログラム・ディレクター 関口宏聡 氏	H24年3月14日 川口地方庁舎
南西部地域振興センター	「NPOの運営と地域とのつながり」 (特)暮らしネット・えん 代表理事 小島美里 氏	H23年5月20日 朝霞産業文化センター
西部地域振興センター	「NPO運営力UP講座～キラリと光るNPOへの道～」 (特)放課後NPOアフタースクール 代表理事 平岩国泰 氏	H23年12月6日 所沢市生涯学習推進センター
川越比企地域振興センター 〃 東松山事務所(共催)	「健全でワンランク上のNPO法人運営」 (特)NPO埼玉ネット 副代表理事 松尾道夫 氏	H23年6月28日 東松山地方庁舎
東部地域振興センター 利根地域振興センター(共催)	「NPOの税務会計と運営～新しい公共に向けて～」 (特)資産相談センター 理事長 河崎陽子 氏	H23年11月16日 春日部地方庁舎
秩父地域振興センター	「特定非営利活動促進法の一部改正等について」 (特)ハンズオン埼玉 事務局長兼専門相談員 川田虎男 氏	H23年10月24日 秩父地方庁舎
北部地域振興センター	「NPOと教育機関の地域協働～体験的な学びの場としてのNPO～」 (特)NPOサポートセンター 理事長・法政大学法学部 教授 山岸秀雄 氏	H23年10月29日 七ツ梅酒造跡 東蔵ホール



●H24年度新規事業●

共助モデル推進事業

「日本一の共助県づくり」を目指した取組として、平成24年度から新たに「共助モデル推進事業」を始めます。NPOが「つなぎ役」となり、地域の安全・安心向上、子育ての支援、高齢者支援などの地域における共助の仕組みを構築する事業に対して助成します。

【H24年度は以下のテーマで事業を募集し、助成します】

①県が共助の仕組みとして必要と考えるテーマ

- a. 子育て支援の充実
- b. 地域での子どもの見守り体制の強化
- c. 地域防災体制強化
- d. 在住外国人の生活向上
- e. 高齢者の豊かな生活確保

②自由テーマ(地域課題解決のための共助の仕組みづくり事業)



NPO活動促進助成事業

◎NPO活動サポート事業

【H24年度の募集分野】

※分野指定枠：

- ①環境保全
- ②災害救援・避難者支援
- ③まちづくり
- ④みどりと川の再生

※ネーミング事業：

- ①(財)さいたま住宅検査センター まちづくり振興事業
- ②キリンビールマーケティング(株)埼玉支社
地産地消・食育応援事業
- ③武蔵野銀行創業60周年記念 医療・福祉振興事業
- ④武蔵野銀行創業60周年記念 地域安全支援事業
- ⑤武蔵野銀行創業60周年記念 子育て支援事業
- ⑥金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業

◎みんなでサポート事業

団体希望寄附を受けた基金登録団体は、「みんなでサポート事業」に応募し、助成を受けられます。

応募の機会は年度内に3回あります。
(4月募集、9月募集、12月募集)

基金登録団体の日常の活動を、寄付金を原資として財政面でバックアップしていきます。



NPO元気なまちづくり助成事業

①活動拠点の整備事業

NPO法人が住民交流を促進することを目的として、県内に新たな活動拠点を整備する事業に助成します。

②地域資源の活用事業

歴史や自然など地域の資源を再評価し、郷土の誇るべき魅力としてまちづくりに活かすNPO法人の活動で、県内に住民交流施設を整備する事業に助成します。



NPO基金を支える3つの寄附方法

NPOを広く支援するなら

一般寄附

県で実施するNPOへの助成事業を始め、NPO支援に係わる幅広い用途に活用されます。NPO支援にもっとも柔軟に対応できる寄付方法です。

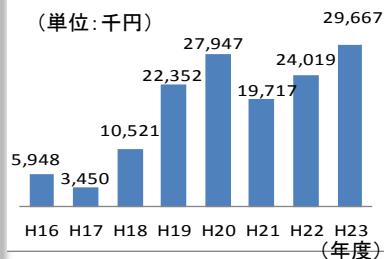
一般寄附の推移

(単位:千円)

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	累計
2,958	2,381	3,146	2,746	13,613	1,487	2,316	663	29,309

NPO基金への寄附額推移

(単位:千円)



支援したい分野があるなら

分野希望寄附

NPO法に定める活動分野をもとに、以下から特に支援したい分野を指定する寄附方法です。

保健・医療・福祉	社会教育	まちづくり
学術・文化・ 芸術・スポーツ	環境保全	災害救援
地域安全	人権・平和	国際協力
男女共同参画	子どもの 健全育成	情報化社会
科学技術	経済活動	職能開発・ 雇用拡充
消費者保護	観光振興	農山漁村・ 中山間地域支援
NPO支援	地産地消・食育	みどりと川の再生

選べる分野が増えました！

★H24年度のNPO法改正により、分野に

「観光振興」
「農山漁村・中山間地域支援」

が追加になりました！

また、「地産地消・食育」、「災害救援・避難者支援」や「みどりと川の再生」といった具体的な活動分野も指定できますので、「ネーミング事業」(※)にご利用いただけます。

※ネーミング事業についてはP4を御覧ください。

基金登録団体はHPに掲載しています。登録状況は随時更新！

基金登録団体はH23年度末で256団体。
(NPO法人のほか、任意団体も登録されています。)

団体希望寄附でいただいた寄附金は、指定された団体が「みんなでサポート事業」に応募し、助成を受けることで活用されます。

基金登録団体の情報は、「NPO情報ステーション」(NPOコバトンびん)に掲載しています。



分野希望寄附の推移

(単位:千円)

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	累計
2,990	1,069	1,001	2,413	3,198	9,726	11,901	12,082	44,380

支援したい団体があるなら

団体希望寄附

基金登録団体(※)の中から、地域や身近で頑張っているNPOや、活動目的に共感できるNPOなど、応援したい団体を指定できる寄附方法です。(寄附金の一部は広くNPO活動支援に活用させていただきます。)

団体希望寄附の推移

(単位:千円)

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	累計
—	—	6,374	17,192	11,136	8,504	9,802	16,922	69,931



皆様からのご寄附をお願いします



ご寄附いただくと、
税法上の優遇措置が受けられます。

個人の
みなさま

所得税や住民税が寄
附額や所得等に応じ
て控除されます。
【ふるさと納税】

法人の
みなさま

寄附金額の全額を
損金算入すること
ができます。

※ 具体的な控除金額等の詳細は、お手数ですが、
埼玉県税務課までお問合せください。(TEL 048-830-2659)

さらに、寄附の累計額が
個人で10万円、法人（団体）で50万円以上になると・・・

- ◎ 知事から感謝状を贈呈いたします。
- ◎ 『埼玉県NPO情報ステーション』にバナー広告を掲載できます。
- ◎ 50万円以上の分野希望寄附をいただいたときは、助成事業に愛称をつけることができます（ネーミング事業）。

『埼玉県NPO情報ステーション』のご案内

NPO活動を支援するために設置した情報提供サイトです。

NPO基金を活用した事業を詳しく紹介しています。

NPOの団体情報や関連お知らせも随時掲載しています。

ぜひ、ご覧ください。

コバトンびん

検索

<http://www.saitamaken-npo.net/>



お問い合わせ先

埼玉県 県民生活部 共助社会づくり課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

TEL:048-830-2828 FAX:048-830-4751

16 ※NPO活動推進課はH24年度から「共助社会づくり課」に変更になりました。

